

Ashibe  
まち協



だより



発行/芦辺地区まちづくり協議会

〒811-5301 壱岐市芦辺町芦辺浦85-3  
(芦辺浦住民集会所1階 老快待所)

☎/080-1655-2998 FAX/0920-40-0904

Email/ ikifdhrt@hm.iki-vision.jp

事務局/芦辺小校区集落支援員 國村 藍

## 寒中お見舞い申し上げます

今年も芦辺地区まちづくり協議会をどうぞよろしくお願い致します

## 第36回壱岐の島新春マラソン

参加された芦辺地区のみなさまお疲れ様でした！



2024年1月14日（日）、爽快な青空のもと今年も、1400人以上が参加され、1Kファミリーマラソンやハーフマラソンなど海沿いを通りながら芦辺町内を走る7部門で健脚が競われました。

軽快に壱岐市ふれあい広場をスタートし、芦辺まち協事務所前も颯爽と駆け抜けていきました。

沿道では、芦辺地区の皆さんもたくさんの声援をおくられておりました。

特に折り返し後、ゴール手前では失速されていた方々も子供達からの「がんばれー！もう少し！」の声援に気力を奮い立たせ、再び走り出していました。その姿に子供たちも感動と元気をもらえたこととおもいます。



1kファミリー部門



# ともに！できることから！



元旦に発生し、甚大なる被害をもたらした石川県能登半島地震から1月が経とうとしております。  
震災でお亡くなりになられた方々へご冥福をお祈り申し上げます。

被害の大きかった輪島市や珠洲市では今も尚、安否不明の方々もあり、懸命な捜索が続けられています。  
連日のニュースでも、1.5万人以上の方々が避難されて断水、停電も続いており、不自由な生活を余儀なくされている現状が報じられています。

被災された皆さまならびにご家族の皆さま心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興を心から願っております。



1/17 神戸淡路大震災から29年目の年をむかえ全国各地で追悼式が執り行われておりました。

災害ボランティアの受け入れも少しずつ始動しましたが、被害の大きかった場所では目途が立っていないところもあり、「何かできることはないか」と歯がゆい思いの方々もいらっしまったことと思います。  
様々な思いで多くの方々が被災地を案じる日々が続いている現在でもあります。

私自身も13年前の東日本大震災を被災地で経験をし、震災直後に出産体験をしたこともあり他人事とは思えず、今何ができるだろうと防災準備を確認しながら色々な思いが沸き上がりました。

しかしながら、当時を振り返ると、ご支援頂いた方々（壱岐芦辺からも災害時必需品をご支援、お見舞いのお言葉を頂き）からの心温まるお気持ちに感謝の思いでいっぱいです。

また、その後、各地で生じた様々な災害と共に現地へ向かわれた災害ボランティアの方々や被災体験された方からお話をお聞きする機会がありました。

その中で共通して聞かれたのが、災害直後の混乱が過ぎた後「タイミングを見てその時の自分ができることをする。」「今すぐには難しくても、形がなくても、遠方からでも“継続的な”支援をする」「当時を忘れない“寄り添い支援”をする」でした。無理をせず、できることからみなさんの“寄り添いの支援”を続けていきたいものですね。

## 今一度防災グッズの確認を！ 人数分（ご家族分）

食料・水は最低3日分  
（できれば1週間分）

災害に備えて今からできることを

### 基本の防災グッズ



- ①スマートフォンのカメラ画面を起動させる。
- ②このQRコードを収めるとアドレスが表示されます。
- ③それをタッチ！してみてください。



インターネットが利用できれば**緊急時**も  
**LINE**も役立ちますよ！



公式LINEアカウント

<https://line.me/ti/p/x1GAu3wUHC>



公式Instagramページ



@ASHIBEMACHIKYOU10

1/28

第4回役員会